

宗谷

宗谷教職員組合

「宗谷情報」No.4 平成25年6月13日発行
発行責任者：八木 博

〒097-0004 稚内市緑2丁目4-21 宗谷教育会館
Tel 0162-22-2480 FAX 0162-22-2484
mail info@soya-teachers.org web : http://www.soya-teachers.org



許されない賃下げ断行へ
くらしと教職員の誇りを守り抜く
とりくみを進めよう。

道教組・高教組は六月十二日、道教委に対して七月からの道職員賃下げに関して、交渉を行いました。全面撤回を求める私たちの要求に対して、結果は厳しいものでした。この結果を重く受け止めるとともに、今後、私たちのくらしと教職員の誇りを守る取り組みを一層強めるきっかけにしていきたいと思います。

若年層は負担軽減、

40代後半以降・管理職には、厳しい回答。
一時金引き下げの撤回なし！！

残念ながら賃下げ撤回には至りませんでした。当初の提案から、若年層からミドルリーダー世代の削減率の圧縮、さらに月例給の減額は手当に連動しないと一定の前進を引き出すことができました。

結果に落胆するのではない、
今後につながる取り組みを！

宗谷では緊急の署名に取り組みました。迅速な対応に感謝します。交渉までに1300筆の署名を道教委に届けることができました。短時間で私たちの声をこれだけ多くの署名に託すこと

ができたのは大きい成果です。

この賃下げのきっかけとなったのは、自民・民主・公明による三党合意のもとで成立した「国家公務員給与臨時特例法」によるものです。国家公務員にならって地方公務員の給与も減額するよう、国は北海道に対して地方交付税を七十億円減額しました。

一方で、北海道は歳入不足による独自削減を一九九九年度から続けています。今回の賃下げに便乗し、北海道はさらに四十億円分の賃下げを上乗せし、合計百十億円分の賃下げを提案しました。

地方交付税を減額した「安倍政権の失政」、独自削減を続けてきても道財政

の赤字が解消されない「高橋道政の失敗」は明らかです。今後も私たちのくらしと教職員の誇りを守る取り組みを一層強めることが大切です。国・道の政策に目を光らせ、要求を実現できるよう、これからも取り組みを進めましょう。

道教委から示された最終回答

下線は提案より改善

項目	提案内容	最終回答
給料月額	管理職(大規模校長) 9.77%減額(現在 9.0%)	9.77%減額
	管理職(小中規模校長・教頭) 8.70%減額(現在 8.7%)	8.70%減額
	31歳以上教職員(一般・主幹・再任用) 7.77%減額(現在 4.5%)	<u>7.15%減額</u> 4.77%減額
	30歳以下教職員 4.77%減額(現在 4.0%)	
期末・勤勉手当	期末・勤勉手当のそれぞれを 9.77%減額	管理職 9.77%減額 <u>24年以上 8.20%減額</u> <u>8年以上 4.60%減額</u> <u>8年未満 減額しない</u>
給与に連動する手当	教職調整額・へき地(準へき)手当・地域手当等も率に応じて削減	<u>減額しない</u>
管理職手当	20%減額(現行 20%)	20%減額

集う意義を確かめ合える一日に。

第46回中央委員会

分会会議で議案書を読み合おう！

この宗谷情報と一緒に、第46回中央委員会の議案書をお届けしています。中央委員会は、活動の総括と方針をみんなで確かめる大切な場です。中央委員会そのものには、代議員という形で支部の代表数名しか参加することができませんが、そこで語られる内容は、議案書を通してみんなで確かめることが大切です。ぜひ、時間をとって集まり、近況を語り合うとともに議案書に目を通す分会会議を行いましょ！

二〇一三年人事総括

これまでの活動を振り返る「第一号議案」の中で、昨年度人事の総括をしています。これまでの経過、「学校づくりと人事」の取り組みの中で出てきた課題とその対処、これらを教訓とした今後についてまとめています。

今年度も2学期になると学校づくりと人事の取り組みがスタートします。その方針にもつながる大事な総括です。ぜひ読み合い学び合いましょ！

大切にしたい

三つの力を高め合おう

7月から十月の方針の中で「先生の力」「教職員組合の力」「発信

力・対話力」の三つを高めることを掲げています。今、「学校の先生」である私たち、そして目の前の子どもたちのまわりにはたくさん課題が山積しています。そのひとつひとつに翻弄させられるのではなく、問題の本質をつかみ、三つの力を高めていく実践を紡いでいきたいという方針です。

臨時教職員部の

組合費について

現在、期限付の先生方の組合費は「毎月一〇〇〇円」です。内訳は、「宗谷教組分一〇〇〇円、道教組納入金として二〇〇円送金」となっています。しかしながら現状は、道教組から請求される「道教組本部納入金」は五〇〇円。つま

- (1)日時：6月22日(土) 11:00~15:00
- (2)場所：宗谷教育会館大会議室

議案書の項目から

- ① 分会方針・分会要求の具体化
- ② 支部独自の取組
- ③ 日常的な学び合い
- ④ 2013人事総括
- ⑤ 組織拡大 など

り期限付組合員1人につき、三〇〇円を宗谷教組が補填する形になっています。道教組は、「道教組本部納入金」を五〇〇円値上げし、「一〇〇〇円」とする提案をし、今年度一年間は各単組で議論をすることになっています。宗谷教組でもみなさんの声を大切にしながら、この議論を進めていきます。

宗谷の四季

「先生、しゃべりすぎだから」

今からもう七年前くらい、初めて六年生を担任し札幌への修学旅行を引率したときに、管理職の先生から言われたひと言です。修学旅行の季節になると思い出します。

子どもたちの様子などが気になり、いつもよりも細かい指示をいっぱいしていたのでしょ。「もっと子どもを信頼してみて」という意味のこの言葉。何年間か続けて修学旅行の引率をして、後になるほど身に染みたものです。

よく組合のおたよりや提案で「本質をつかむ」という言葉を使っています。「本質」は、目には見えないし具体的な行動として現れない、つかみどころのないものです。でも、一度つかむことができたなら、あとはどんなことにも応用ができるとてもすてきなもの…だと思っています。

「本質をつかむ」ために。大事なのは聞く・学ぶ・考える。学ぶには「取りあえず真似してやってみることから」というのもあるでしょう。大事です。だからこそ、集いつながることが大切なのだと思います。第46回中央委員会。たくさんの方からみんなで学び合えるのを楽しみにしています。

(naity)



クレスコ

宗谷教組限定

年間購読割引キャンペーン

「あれ？この教育問題の課題ってなんだ！？」「子どもたちのこと、本質でわかりあいたいなあ」——そんなときにこの一冊。月刊誌「クレスコ」がおすすです。宗谷教組では、新規に年間購読を申し込まれた方に割引をする「クレスコ購読拡大キャンペーン」を行います。年間6,000円のところ、今お申込みいただければ3,000円に割引します。お申込みは、宗谷教組本部までお電話または、cresco@soya-teachers.org まで。

適用条件

- ◆対象は宗谷教職員組合の組合員のみなさんです。
- ◆このキャンペーンのお申込みは、2013年6月号から2014年3月号までの10か月分に有効です。
- ◆キャンペーン期間は6月30日までとしますが、財源の限度に達し次第終了となります。
- ◆このキャンペーンでお申し込みの際は、2014年3月号まで一括購読となります。
- ◆2014年4月号以降の購読を取りやめる際は、2014年2月末までに購読者ご本人からの申し出によることにします(自動更新となってしまいます)。